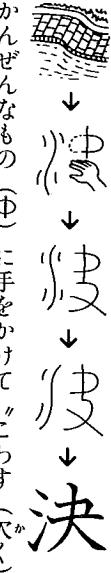


決

三年
画数 7
筆順 オンケツ
フン きIIめるIIまる

成り立ち

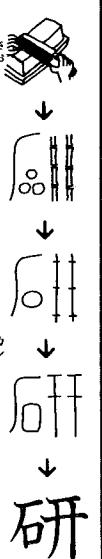


かんせんなもの（中）に手をかけて「こわす（欠く）」ことをあらわした「夬（けつ）（欠の本字）」と「ノ」を組み合わせて作った字で、こうずいのとき、水のながれをよわめるために、川上のていぼうをこわして水をながすことであらわした字です。川下をすくうために川上にこうずいをおこすのですから、これを「きめる」のにはよほどゆう氣とかくごがります。それで、このような大事を「きめる」ことを「決」という字であらわしたものであります。

〔堤を切り崩すのが本義の字で、「決壊」という用法がこれである。川下の氾濫を救うためとはいえ、堤防を決壊するのであるから、これを「決断」というわけである。〕

研

三年
画数 9
筆順 石石研
オシケンドリグ
成り立ち



「旧字体は「研」である。干を二つ並べた干は、カンの音の変化したものである。「間」の音に、カンとケンとあらわしたものと思えばよい。」

らわした字です。

〔旧字体は「研」である。干を二つ並べた干は、カンの音の変化したものである。「間」の音に、カンとケンとあらわしたものと思えばよい。〕

使い方

▽クラス討論会で、花だんを作ることに決まりました。

一班はレンガで、縁どりを作ることに決めました。二

班はチューリップの球根をうえることにしました。三

班は三色すみれの種をまくことに決まりました。どん

な花だんができるか、楽しみです。

▽ぼくは、いちど決めたことは、めったに変えません。変えると、いろいろと、つごうのわるいことが、おきてくるからです。

熟語例

▽決心（心を決めること。こうしよう、とか、ああいうことはしない、とか、はつきり心の中で決めること。

「そんなに固く決心したのなら、もうなにもいわないよ」などというふうに、つかいます。)

▽採決（会議で、反対が賛成かを決めること。「採決の結果、提案どおり、花だんを作ることに決まりました」などというふうに、つかいます。)

▽砥石で研ぐのはたいへんですが、研磨機をつかうとだれでもかんたんに研げます。

▽ぼくのお父さんは研究所で研究していますが、おじさんは研修所で研修しています。

使い方

▽砥石で研ぐのはたいへんですが、研磨機をつかうとだれでもかんたんに研げます。

▽ぼくのお父さんは研究所で研究していますが、おじさんは研修所で研修しています。

熟語例

▽研磨機（はものを研いだり磨いたりする機械）

▽研磨（はものを研いだり磨いたりすること。また、学問を研究したり技術をふかめたりすることに力を入れることをいいます。）

▽研究（まだよくわからないものごとをふかくしらべ明瞭にすること。また、ものごとの道理や本質をつきとめること。）

使い方

▽研修（学問や技芸を身につけるため学習すること。しごとをする能力を高めるためにとくべつに学習することをいいます。研究が、まだ明瞭にされていない

ものごとをしらべるためにだし、研修は、すでに明らかにされているものごとを学習するものです。）